

# グリーンボンド

第18回無担保普通社債（グリーンボンド）資金充当状況・インパクトレポーティング（2022年12月時点）

調達金額	未充当金額
100億円	46億円

プロジェクト名称	概要	インパクトレポーティング
再生PET樹脂の調達	<p>再生PET樹脂は使用済みのペットボトルをメカニカルリサイクルすることで製造されるものです。ペットボトルの原料に利用することで、ペットボトルをペットボトルに再生することが可能となり、化石資源の利用削減につながるほか、石油由来のペットボトルの製造と比較し、樹脂製造段階のCO<sub>2</sub>排出量が約50～60%削減されることが示されています。日本では年間に581千トンの指定ペットボトルが販売されているのに対し、ペットボトルの原料に利用された再生PET樹脂の量は117.6千トンにとどまっており、ペットボトル製造における再生PET樹脂の利用拡大が求められています。</p> <p>充当済金額（累計）：49億円（リファイナンス割合42.4%）</p>	 <p>グループ全体におけるリサイクルPET樹脂比率は8.3%となっております。</p>
工場におけるヒートポンプシステム導入	<p>ヒートポンプシステムは空気や水から低温熱源を回収し、エネルギーを加えることで、高温エネルギーに転換する技術です。</p> <p>産業用では、廃気や排熱等の未利熱源を使って高温エネルギーを生成し、加熱、保温、殺菌、乾燥、洗浄、蒸留といった生産プロセスで適用されています。</p> <p>キリングroupでは、製造プロセスによるGHG排出の大半を占める、加熱工程の為に化石燃料の燃焼を、ヒートポンプシステムによって代替することを予定しており、また、エネルギー源として使用する電力を再生可能エネルギーによって調達することで、よりGHG排出量の少ない製造システムの整備に取り組んでいます。</p> <p>日本国内5工場にてヒートポンプシステム導入が完了しております。</p> <p>充当済金額（累計）：5億円（リファイナンス割合41.7%）</p>	 <p>ヒートポンプシステム導入による2022年度のGHG削減量は2,750tとなっております。</p>